

清瀬市公共施設再編計画（地域レベル編）策定のための意見交換会

資料 2

PTA及び保護者の皆様からの主なご質問・ご意見

目次

(1) P T A 及び保護者意見交換会の概要 2

(2) アンケート票 公共施設の再編案について 集計 3

(3) アンケート票 小中一貫校について 主なご意見 6

(4) アンケート票 自由意見 主なご意見 8

(5) 意見交換会でいただいたご質問・ご意見と市の回答 9

これまで、PTA及び保護者のみなさまに内容をご説明し、
様々なご質問やご意見をいただきました。

(1) P T A 及び保護者意見交換会の概要

————— PTAとの意見交換会 ————

項目	概要
開催日	令和3年3月22日（月） 令和3年3月23日（火）
	計2回
参加者数	15名

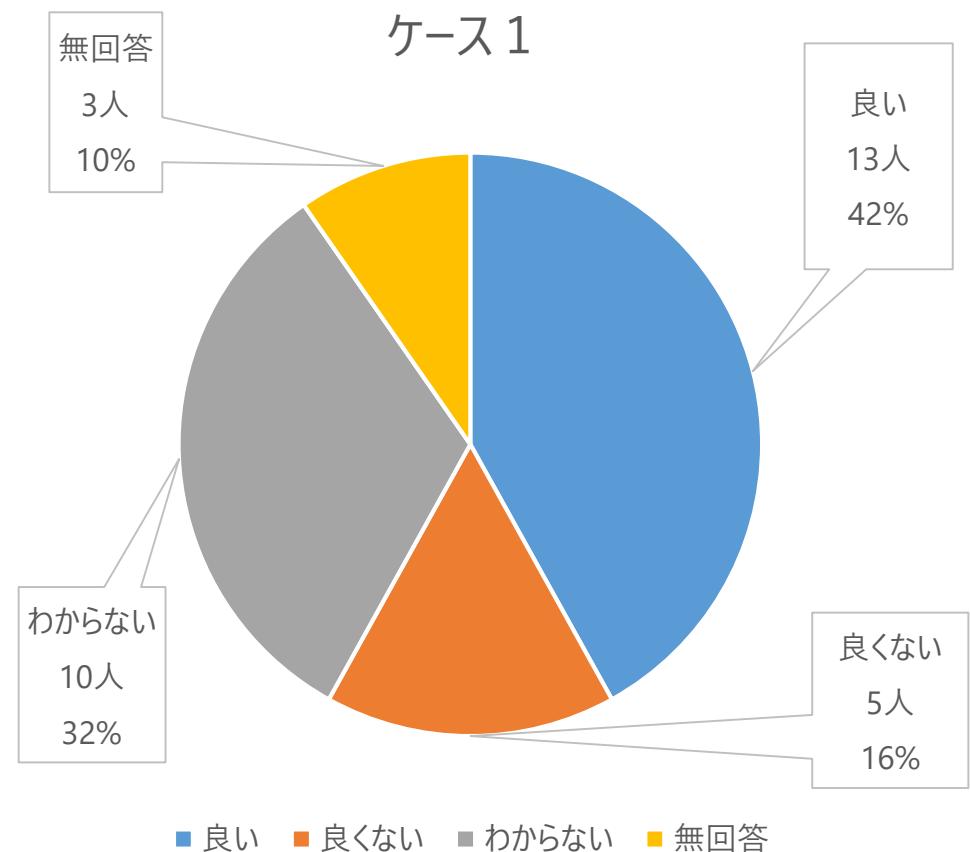
————— 保護者との意見交換会 ————

項目	概要
開催日	令和3年4月14日（水） 令和3年4月15日（木） 令和3年4月16日（金） 令和3年4月17日（土）午前 令和3年4月17日（土）午後
	計5回
参加者数	34名

(2) アンケート票 公共施設の再編案について 集計

資料18ページ 3つの再編案

・ケース1（清瀬小・第八小・清瀬中）について、どのように思われますか？



良いと回答した方の理由

- ・距離が近いので編成しやすいと思う。
- ・市内の学校が多すぎると思う。

良くないと回答した方の理由

- ・八小区域から清瀬小までは距離があり、小学生には大変。
- ・全てを集約は難しいと思う。

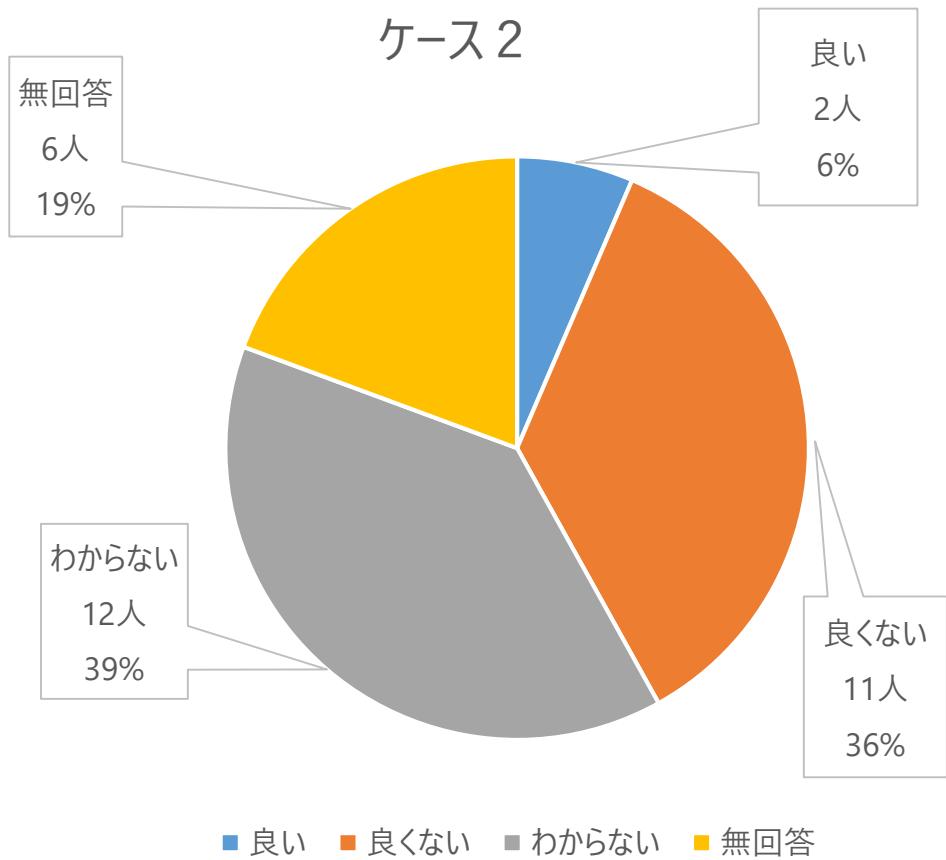
わからないと回答した方の理由

- ・できれば小学校は点在していて欲しい。
- ・当該地域の意見を尊重して欲しい。

(2) アンケート票 公共施設の再編案について 集計

資料18ページ 3つの再編案

・ケース2（清瀬小・清瀬中・第四中）について、どのように思われますか？



良いと回答した方の理由

- ・小学生の学区変更は通学が大変だと思う。
- ・市内の学校が多すぎるとと思う。

良くないと回答した方の理由

- ・第四中区域から清瀬中までの交通や距離が心配。第四中からは通学距離が遠すぎて難しいと思う。
- ・清瀬中と第四中を統合して、適正規模になるとは思えない。

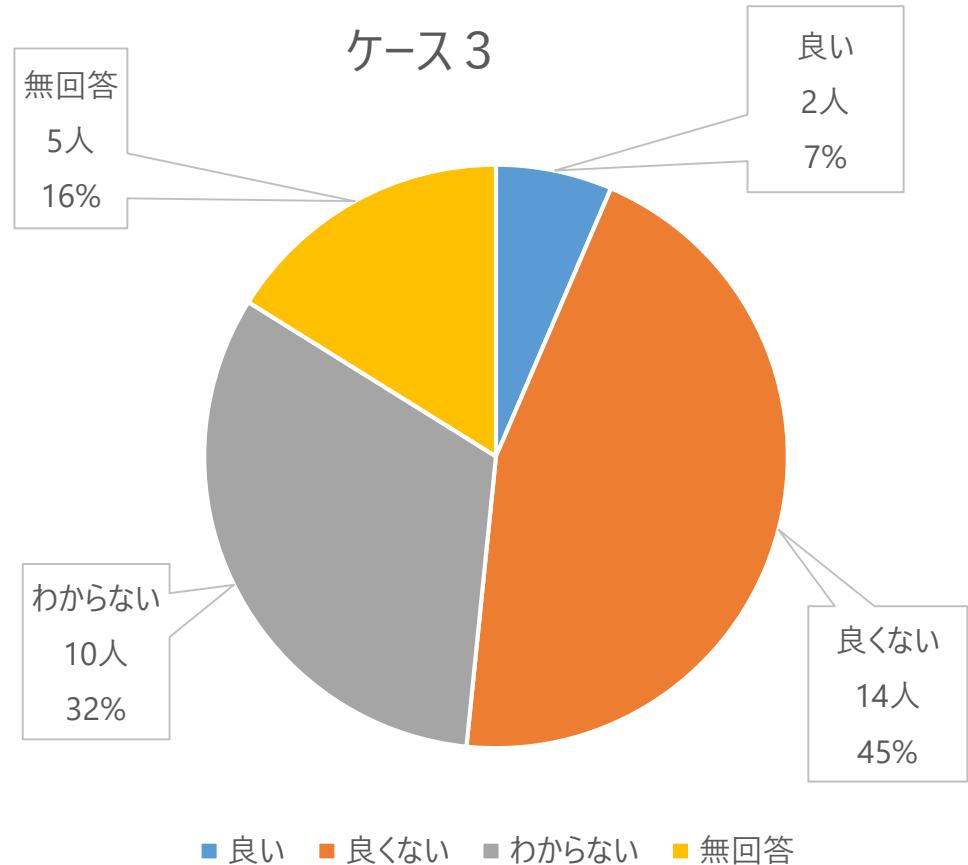
わからないと回答した方の理由

- ・住んで、通わせている人、先生方が良いと思うなら良いと思うが、必要は感じない。
- ・第四中だけ離れすぎていると思う。

(2) アンケート票 公共施設の再編案について 集計

資料18ページ 3つの再編案

・ケース3（清瀬小・第八小・清瀬中・第四中）について、どのように思われますか？



良いと回答した方の理由

- ・市内の学校が多すぎると思う。

良くないと回答した方の理由

- ・大規模な統合になり、メリットよりデメリットの方が大きいと思う。
- ・学区が広がり過ぎて、児童生徒が多すぎる。

わからないと回答した方の理由

- ・どんなメリットがあるのかわからない。
- ・児童生徒数が多すぎるのではないか。

(3) アンケート票 小中一貫校について 主なご意見

小中一貫校について、どのような期待や不安がございますか？

期待

- ・少子化に対応し、子どもが多様な人間関係の中で育つことができると思う。
- ・教育目標等、魅力的な小中一貫校が出来れば良いと思う。ただし、違う中学校に移る等の学区に縛られない可能性を残しておいた方が良いと思う。
- ・教員相互の情報交換等、子どもにとって良いことはあると思う。
- ・イベントは盛り上がり、地元への愛着、仲間同士の絆は深まりやすくなる。
- ・多くの人、多くの考えと触れ合える。
- ・慣れれば顔見知りも多くなり、交流面では楽しく過ごせそうかなと思う。
- ・小学校で学んだことが重複したりしないでスムーズに高校受験へ進めるのではないか。部活の選択が増えそう。
- ・新しくできるので、今までのやり方にこだわらずアイデアを出してほしい
- ・学校の特色が出せるので良い。

(3) アンケート票 小中一貫校について 主なご意見

小中一貫校について、どのような期待や不安がございますか？

不安

- ・学区域が広があるので、通学の安全面や負担が心配。特に低学年。
- ・学校行事を一緒にするのは生徒の性格により溶け込める子とそうでない子の差が出来そう。
- ・同じ教育方針や人間関係に9年間縛られてしまうことへの懸念。選択の自由も残しておいて欲しい。
- ・敷地が狭くないのか、十分スペースが確保できるのか。
- ・9年間にわたって同一の教育目標とあるが、そんなことはありえるのか。
- ・中学生の影響を受けやすくなる（悪い面で）。
- ・中学生が小学生に引っ張られて落ち着かなくなりそう。
- ・小学校6年生の最高学年としての役割がなくなる。
- ・一貫校ではない学校と学力差がつくのではないか。
- ・一貫校に入りたい生徒が増えて、一貫校だけ特別な感じにならないか。

(4) アンケート票　自由意見　主なご意見

- ・公共施設と小中学校が複合施設になることはメリットがとても多いと思う（図書館の学区配置、貸部屋の利用しやすさ・無駄のない利用、高齢者と児童生徒の往来）。
- ・再編前から、今からでも小中学校は教員、生徒、保護者がもっと交流すべきだと思う。
- ・小学校と中学校の教育の考え方（指導法）が異なる為、メリットを感じない。
- ・学区域編成は仕方ないと思うが、遠い生徒は選択制にする（現状と同じ）。
- ・支援学級の設置は早急に対応していただきたい。
- ・コミュニティ施設を併設した時の児童・生徒の安全性は大丈夫なのか。
- ・小中一貫校はまだなんとなく理解できるが、市民センターまで併設するはどうか疑問がある。
- ・地域で児童・生徒を教育していく考えもあると思うが、逆に関わりたくないという人もいるのではないか。
- ・区部、市部で既に小中一貫校が作られ、教育が行われているが、今回も清瀬市のモデルケースのように感じる。それが良いか悪いかは何年も経ってから分かることかなと思う。
- ・コミュニティ施設を併設しただけでは地域との交流は難しい。敷地を分けるのでは交流は生まれないので、授業に地域の人を組み込む必要があると思う。
- ・学校に図書館や児童館を統合するのは賛成。子どもを遊ばせる時、いつも行ってる学校で遊べて地域の方とも交流ができるのは安心もあり成長にも繋がると思います。
- ・一貫校より、小学校は小学校、中学校は中学校の充実を図って頂きたい。

(5) 意見交換会でいただいたご質問・ご意見と市の回答

番号	ご質問・ご意見	市の回答
1	再編計画について、ここまで経緯を教えて欲しい。	<p>公共施設については、老朽化と更新等費用の確保という課題を抱えており、平成28年度に有識者や市民意見交換を踏まえて、公共施設をどのように維持管理していくかについて、「公共施設等総合管理計画（基本方針編）」を策定しました。その中で、今の公共施設を維持していくことは財源が厳しく、集約化や複合化といった再編を図らなければならないとして、令和元年度に「公共施設再編計画（全市レベル）」を策定し、公共施設の全体的な再編計画と基本的な考え方をお示しました。</p> <p>学校については、「清瀬市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針検討委員会」にて、1学級あたりの児童生徒数、1学年あたりの学級数、通学距離の限度などの目安を整理しました。</p> <p>その上で、今回、それらを踏まえて、校舎の老朽化が課題となっている清瀬小学校をベースとした地域レベルの公共施設の具体的な再編の方向性を定めることを目指しています。</p>
2	清瀬市内の全ての学校を小中一貫校にしていくのですか？	<p>今回は、清瀬小・清瀬中をまず一貫校にしていきたいという提案です。それ以外の学校については何も決まっていません。</p> <p>市民の皆様から一定の評価が得られれば、清瀬小・清瀬中以外の学校についても、再編時に一貫校にするかどうか検討していくことになります。</p>
3	清瀬市内で小中一貫校を作る地域とそうでない地域が出る場合、学校を選択できるように検討して欲しい。	学校選択制も検討していく必要があると考えています。
4	学校選択制とはどういうものですか？希望者が多くなった場合はどうするのですか？	他地区の事例で言うと、学区域にいる方が最優先されて、地区外に枠を設けることがあります。その場合、地区外からの希望者が枠を超える場合は、抽選といったことが考えられます。

(5) 意見交換会でいただいたご質問・ご意見と市の回答

番号	ご質問・ご意見	市の回答
5	小中一貫校は国から求められているのですか？それとも清瀬市独自の方針ですか？	<p>国は小学校と中学校の連携強化という方針を示しており、その中で、小中一貫校を作る自治体が増えてきています。</p> <p>小中一貫校には一定の効果・メリットがあるとされており、清瀬市でも、まず小中一貫校を1校導入したいというのが今回の計画です。</p>
6	小中一貫校のメリット・デメリットを教えて欲しい。	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間にわたって同一の教育目標に基づく同じ方針で教育活動を行うことで、子どもの学びが充実する。 ・小学校高学年の教科担任制の実施や、部活動への参加などによって「中1ギャップ」が解消され、不登校の減少が期待できる。 <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が9年間固定化されリセットがかけにくい。 ・小学校6年生がリーダー意識を持ちにくい。 ・小学校の卒業式や中学校の入学式がないことによる心機一転が図られない。 <p>といった点が挙げられます。</p>
7	小中一貫校になった場合、学校行事、体育館や校庭の使い方、チャイムの時間、児童・生徒会、PTAなど、どのように運用されていますか？	<p>現時点では運用ルールは決まっていません。</p> <p>今回の再編計画が決定した後、色々な運用ルールを決めていく必要がありますが、そのルールは、学校・地域・保護者の皆様を交えて、皆で協議しながら決めていきます。</p>
8	小中一貫校の場合、校長の任期はどうなるのでしょうか？	校長の任期はこれまでと同じで、異動があります。

(5) 意見交換会でいただいたご質問・ご意見と市の回答

番号	ご質問・ご意見	市の回答
9	<p>適正規模・適正配置を実現するための3つの目安はどのように決めたのですか？</p> <p>①1学級あたりの児童生徒数：35人程度 ②1学年あたりの学級数：小学校3～4学級、中学校4～6学級程度 ③通学距離の限度：小学校2km、中学校3kmを超えない</p>	<p>令和元年度に適正規模・適正配置の基本方針を策定する中で、学校の先生や地域の保護者、有識者と教育委員会で検討委員会を構成して議論をし、また各地で意見交換会やパブリックコメントを実施し、保護者の方々や地域の方々の意見をいただきながら決まりました。</p>
10	<p>1学級あたり児童生徒数35人は多いと感じます。清瀬市独自で、30人、25人と少人数にする考えはありますか？</p>	<p>1学級あたりの児童生徒数が少ないと、生活活動が活発にならないなどの問題があるため、35人が適正規模と考えています。 また、学級数が増えると教員の数が必要になりますが、仮に30人学級とした場合、清瀬市で独自に教員を雇わなければならないため、実現は困難です。</p>
11	<p>小学校の適正規模を1学年あたり3～4学級とされていますが、現在、清瀬市内でその規模の小学校はありますか？</p>	<p>令和3年5月現在、全ての学年で1学年あたり3学級以上の小学校は、清瀬小と第十小のみです。</p>
12	<p>通学距離が現状より延びると、特に小学校低学年の児童が安全安心に通学できるか疑問です。</p>	<p>再編後も極端に通学距離が増えることのないよう学区再編を考えています。 また、通学路についても、引き続き、警察や道路担当部署と連携し、安全安心に通えるよう精査していきます。</p>

(5) 意見交換会でいただいたご質問・ご意見と市の回答

番号	ご質問・ご意見	市の回答
13	コミュニティ施設との複合化で、校庭が狭くなることを懸念しています。	<p>今回の再編計画が決定した後、どのような建物を建てていくか、具体的な設計に入ります。</p> <p>今回計画化を予定している清瀬小・清瀬中については、十分な敷地面積が確保できると考えておりますが、具体的な設計において、十分考慮して取り組んでいきます。</p> <p>例えば、給食室や職員室等を共有し、施設全体をコンパクトにつくる、プールの民間委託化等による必要設備の整理を行う、など創意工夫をしながら、可能な限り現在の校庭の規模を保つよう努めます。</p>
14	清瀬小・清瀬中は隣接しているため、ある程度広い敷地を確保できるが、それ以外の地域で、隣接していない学校については、1つの敷地に学校とコミュニティ施設を集約することは可能なのでしょうか？	<p>隣接していない学校については、より狭い地域で複合化している他の自治体の事例を参考にしながら、施設の効率的な配置などで工夫して対応していくたいと考えています。</p>
15	清瀬小と清瀬中の再編案では校舎は別々のことですが、これは例外であり、今後、別の小学校と中学校を再編していくときは小学校と中学校の校舎は1つになるのでしょうか？	<p>清瀬小と清瀬中を中心とした今回の再編案については、各校舎の建築年数が違うため、建物を別々にしています。</p> <p>清瀬小の時期に合わせると、まだ清瀬中の校舎は新しいままで建替えることになってしまうため、清瀬小の再編時期には、清瀬中はそのまま残し、適正な時期がきたら建替える想定です。具体的にどの様な形になるかは、その時期が来たら検討することとしています。</p> <p>また、別の小学校と中学校の再編については、小中一貫校とするかどうかも含めて、現時点では何も決まっていません。</p>
16	今回の再編案と比較して、さらに大型の施設を作り、徹底的に集約するということも検討したのでしょうか？	<p>コスト面だけを考えれば施設を少なくした方がメリットがありますが、適切な教育環境の実現を考えた結果、1学級あたり35人、1学年あたり3～4学級（中学校は4～6学級）を適正規模として考え、今回の再編案をお示ししています。</p>

(5) 意見交換会でいただいたご質問・ご意見と市の回答

番号	ご質問・ご意見	市の回答
17	再編案のケース2とケース3に、地域的に離れている第四中が含まれていのはどのような考え方ですか？	<p>まず清瀬中の学級数や生徒数の適正規模を確保するという観点から考え、そうした場合、清中と立地的に比較的近い中学校と統合することを検討しました。</p> <p>第五中も選択肢に挙がりましたが、通学距離を考慮し第四中としました。なお、この場合であっても、第四中の生徒全員が清瀬中との統合校に通うわけではなく、第二中に通う生徒もいます。</p> <p>学級数、生徒数、通学距離の適正規模を考えて検討しました。</p>
18	地域コミュニティ施設との複合化で、敷地内に不特定多数の方が訪れることになるため、セキュリティ面が心配です。	<p>セキュリティ面は複合施設の重要課題であると考えています。</p> <p>他自治体の事例ですが、完全に入口を分けるケース。あるいは、利用時間を調整して、一般的の公共施設利用者は子どもたちのいない時間等に使えるようにしているケース。など、いろいろな工夫をしています。</p> <p>こうした他自治体の例も参考にして、保護者の皆様・学校・地域と協議し、児童生徒の安全を守る十分なセキュリティを確保しながら、可能な限り開かれた施設とするための方策を考えていきます。</p>
19	児童生徒数の推計人数が現実と大きく差が出た場合、計画はこのまま進めていくのでしょうか？	<p>推計より子どもの数が多くなった場合でも包含できるよう、学級数などは余裕を持って推計していますが、計画の変更が必要になるほど差が出る場合は随時計画を見直していきます。</p>
20	地域コミュニティ施設が集約されると、現状より施設が遠くなってしまい、アクセスが難しくなるのではと懸念しています。	<p>駐車、駐輪場の整備など、アクセス環境を高めていきたいと考えています。</p>
21	今回の計画で、例えば清瀬小と第八小が統合された場合、廃校となる学校の用地はその後どのように活用するのでしょうか？	<p>現時点では、廃校となった学校の用地は売却して、より良い学校を建設していくための財源にしたいと考えています。</p>